

2026年3月期 第1四半期 決算説明資料 [IFRS]

(2025年4月－2025年6月)

LIXIL 株式会社 LIXIL
2025年7月31日

証券コード：5938

Copyright © LIXIL Corporation. All rights reserved.



2026年3月期 第1四半期 業績の総括

2026年3月期 1Q実績 前年同期比、減収なるも事業利益・EBITDAともに改善

■ 国内

- ・ 水まわりリフォーム商材の拡販が順調なことに加えて、建築基準法の改正（4号特例の廃止）の駆け込み需要が想定以上に1Qに集中し、収益をけん引
- ・ LHTのリフォーム売上は計画未達となるも、新築向け売上が想定よりも落ち込まず、事業利益は計画を達成

■ 海外

- ・ LWT海外事業は、売上は前年比減収なるも事業利益は大幅改善
- ・ 欧州・中東は高価格品へのシフトも進み、好調が継続。一方、米国事業は、関税交渉等 市場の混乱に加え、基幹システム刷新による移行の影響もあり、売上・利益ともに低調継続

■ その他

- ・ LHTにおける窯業サイディング事業の撤退に伴う損失（在庫評価損ならびにその他費用）を計上。事業撤退は26年3月末を予定。また、欧州における拠点再編に係る費用を計上。これをもって大型の構造改革は概ね完了

2026年3月期 足元の事業環境と今後の見通し

■ 国内

今後の見通し

堅調継続

- ・ 4号特例の駆け込み需要により、2Q以降は新築向け売上の僅かな反動減が予想されるも、水回りリフォーム商材の拡販が順調に進んでおり、当初予測からの変更なし。LHTのリフォーム売上は、販売促進策を強化し、売上拡大を目指す

■ 海外

今後の見通し

欧州・APAC：回復基調
米国・中国：低調継続
IMEA：堅調継続

- ・ 欧州事業は、本格的な需要回復は来期以降との予測に変更なし。今期も売上改善は継続すると見込む
- ・ 米国と中国の住宅需要における不透明感が継続。特に米国は関税政策によるインフレ進行・長期金利の高止まりに起因する住宅市場の一層の冷え込みが深刻化する可能性あり

■ その他

- ・ 今後、構造改革による多額の費用発生は予定なし。米国浴槽事業の売却による構造改革効果はFYE2027以降に発現予定

■ 2026年3月期 業績予想

変更なし

- ・ 国内事業、欧州・中東事業は好調継続の見通し。ただし、米国住宅市場の不透明感もあり、2Q以降は慎重な見極めが必要
- ・ 業績予想は変更なし

前年同期比で減収増益

■ 売上収益 3,647億円、前年同期比 51億円減

- ・ 1Q3ヵ月（増減率）：国内 +3%、海外 -8%（為替影響除く、-4%）

■ 事業利益 90億円、前年同期比 84億円増

- ・ 1Q3ヵ月（増減額）：
LWT +64億円、LHT +15億円、Living +8億円、連結調整/他 -3億円

■ EBITDA⁽¹⁾ 294億円、前年同期比 76億円増

■ 最終四半期利益⁽²⁾ -9億円、前年同期比 49億円増

- ・ その他費用（構造改革費用）・金融費用（為替差損）・税金費用（税効果影響）の増加により、最終四半期利益は-9億円
- ・ 1Q3ヵ月（増減額）：その他費用ならびに金融費用の増加あるも、事業利益改善により前年比49億円改善

(1) EBITDA = 事業利益 + 減価償却費

(2) 最終四半期利益 = 親会社の所有者に帰属する四半期利益

	第1四半期 3か月			
	25/3期	26/3期	前年 同期比	%
(億円)				
売上収益	3,698	3,647	-51	-1.4%
売上総利益	1,174	1,248	+74	+6.3%
(%)	31.7%	34.2%	+2.5 pt	-
販管費	1,167	1,158	-10	-0.8%
事業利益 ⁽¹⁾	6	90	+84	-
(%)	0.2%	2.5%	+2.3 pt	-
非継続事業を含む 最終四半期利益 ⁽²⁾	-59	-9	+49	-
EPS (円)	-20.39	-3.17	+17.22	-
EBITDA ⁽³⁾	217	294	+76	+35.0%
(%)	5.9%	8.0%	+2.2 pt	-

■ 売上総利益率：前年同期比2.5pt良化

■ 販管費：国内人件費、活動費は増加するも、海外販管費の為替換算影響による減少を主因に前年同期比10億円の減少（日本+12億円、海外-4億円、為替換算影響-17億円）。販管費率は、0.2pt悪化

■ 事業利益率：前年同期比2.3pt良化

(1) 日本基準の「営業利益」に相当

(2) 親会社の所有者に帰属する四半期利益

(3) EBITDA=事業利益+減価償却費

LWTは、日本・海外事業ともに増益。高収益な欧州・中東の売上改善が増益に貢献。
LHTは、売上が微減なるも価格改定により減収増益。Livingは、全商材売上好調により増収増益

		第1四半期 3か月		
(億円)		25/3期	26/3期	前年同期比
LWT	売上収益	1,995	1,932	-63
	事業利益	42	106	+64
LHT	売上収益	1,292	1,282	-9
	事業利益	46	61	+15
Living	売上収益	490	513	+23
	事業利益	14	22	+8
全社/連結調整	売上収益	-78	-81	-2
	事業利益	-95	-98	-3
合計	売上収益	3,698	3,647	-51
	事業利益	6	90	+84

為替影響⁽¹⁾

1Q3ヵ月：売上収益 -58億円、事業利益 0億円

(1) 在外子会社からの損益の為替換算影響額

(2) 26/3期からセグメント区分を変更しています。旧区分での業績につきましては、次頁をご覧ください

旧報告セグメントによる1Q（3か月）業績は以下のとおり

		第1四半期 3か月				
		25/3期	26/3期	前年同期比		
(億円)					セグメント 変更による 増減 (2)	セグメント 変更を除く 増減
LWT	売上収益	2,289	2,243	-46	+17	-63
	事業利益	49	122	+73	+9	+64
LHT	売上収益	1,434	1,426	-8	+1	-9
	事業利益	53	66	+13	-2	+15
全社/連結調整	売上収益	-25	-23	+3	+5	-2
	事業利益	-95	-98	-3	+0	-3
合計	売上収益	3,698	3,647	-51	-	-
	事業利益	6	90	+84	-	-

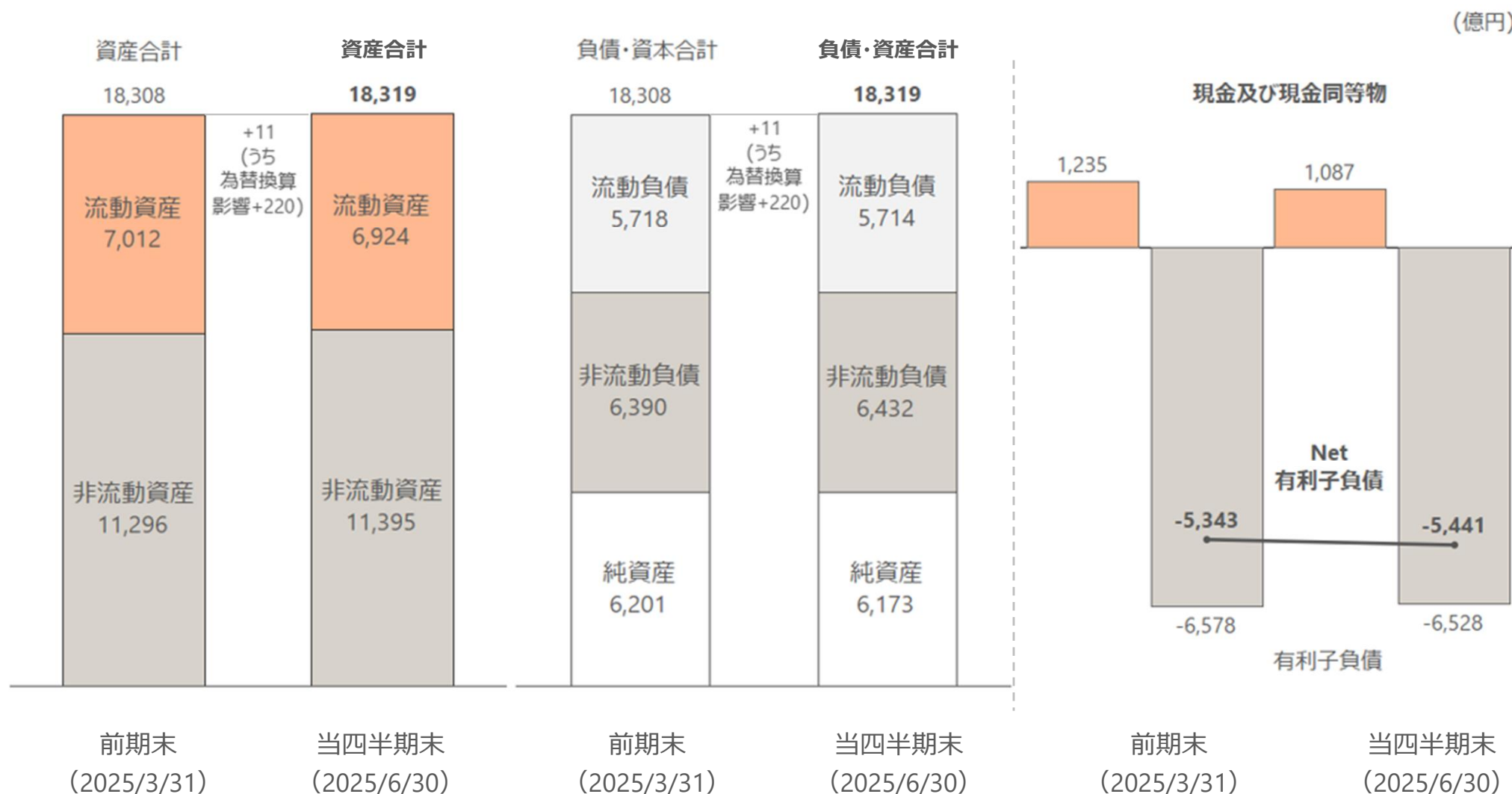
為替影響⁽¹⁾

1Q3ヵ月：売上収益 -58億円、事業利益 0億円

(1) 在外子会社からの損益の為替換算影響額

(2) 2報告セグメントから3報告セグメントに変更したことに伴う連結調整額を含む

総資産は微増。欧州における資産が為替換算影響により増加。
自己資本比率は、33.6%

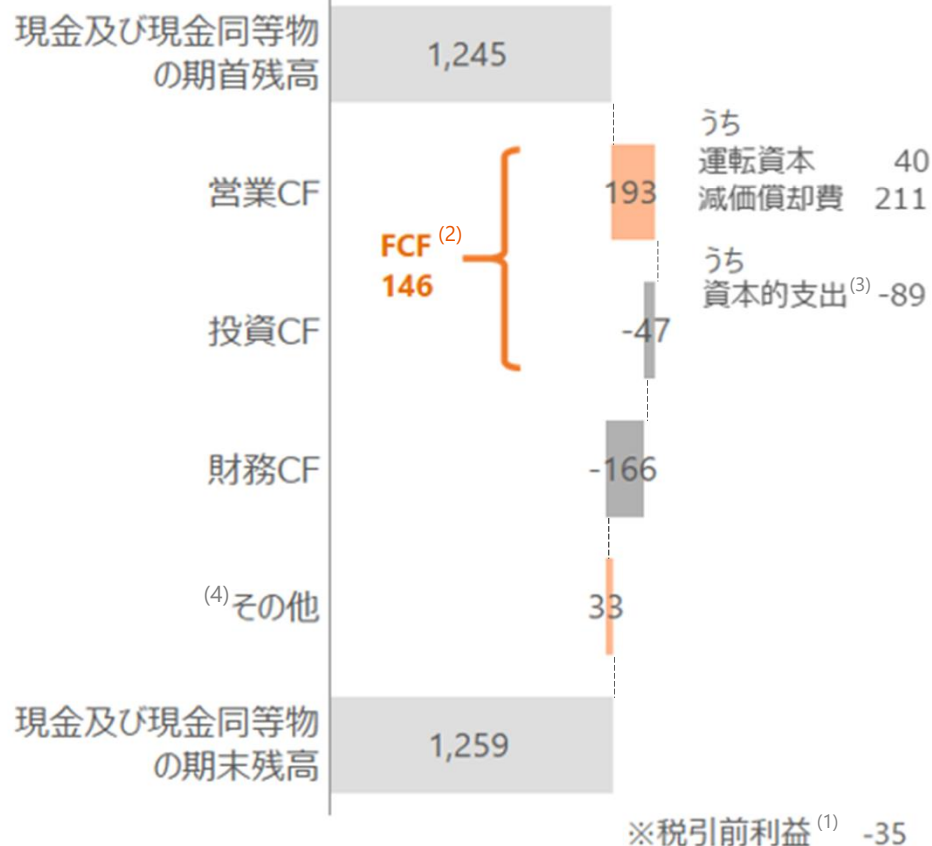


〉 キャッシュフローの状況及び現金残高

運転資本はわずかに増加も、税引前利益改善により営業キャッシュフローは前年と同水準。
 フリーキャッシュフローはプラスを維持

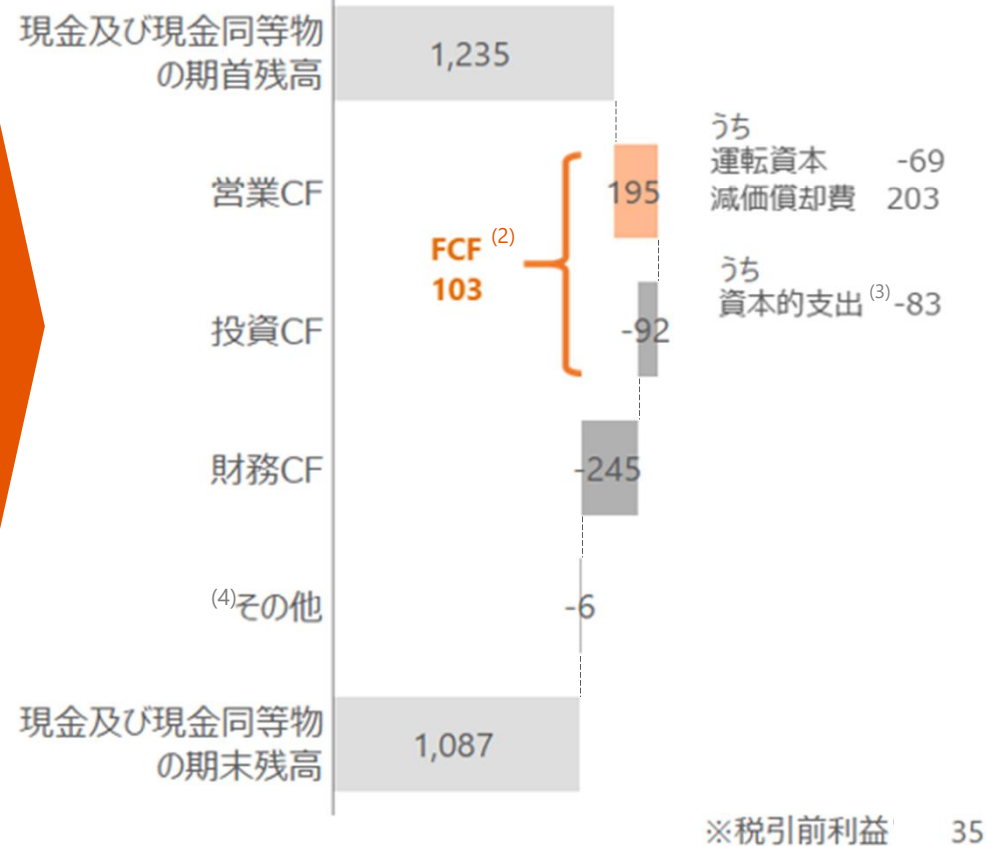
25/3期 第1四半期 ⁽¹⁾

(億円)



26/3期 第1四半期 ⁽¹⁾

(億円)



(1) 非継続事業を含む

(2) フリーキャッシュフロー (FCF) = 営業CF+投資CF で計算

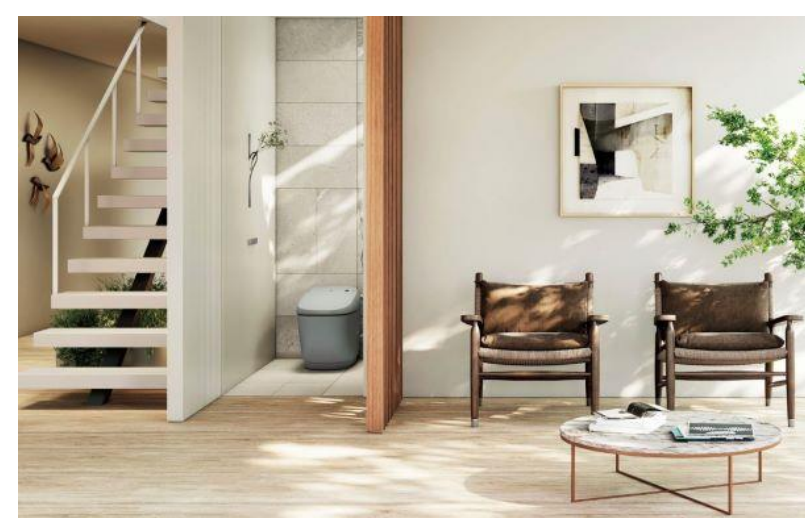
(3) 資本的支出=有形資産の取得+無形資産の取得
(IFRS16 リースによる使用权資産の取得を除く)

(4) 「その他」 = 為替換算影響額

セグメント別決算の概要

- － ウォーターテクノロジー事業 (LWT)
- － ハウジングテクノロジー事業 (LHT)
- － リビング事業 (Living)

- 商品・製造プロセス・ビジネスモデルにおいて類似点の多い「ウォーターテクノロジー事業」の「キッチン・洗面事業」及び「ハウジングテクノロジー事業」の「インテリア事業」を統合し、2026年3月期1Qより「リビング事業」として新セグメントを発足しました。
- 近年の事業環境の変化を踏まえ、特に成長が著しいインドと中東の重要性が増していることから、区分を下記の5地域に変更しています。
 - ・ アメリカ
 - ・ 欧州
 - ・ インド、中東、アフリカ地域
 - ・ アジア太平洋地域
 - ・ 中国



日本事業はリフォーム向け売上好調により増収増益。海外事業は、欧州・中東・インドの売上好調なるも、米国の売上減少の影響を受け、減収増益

(億円)		25/3期 第1四半期実績	26/3期 第1四半期実績	前年同期比		26/3期 業績予想
				増減	%	
日本	売上収益	729	776	+47	+6.5%	3,200
	事業利益	39	52	+13	+34.5%	205
	%	5.3%	6.7%	+1.4 pt	-	6.4%
海外	売上収益	1,267	1,156	-111	-8.7%	5,110
	事業利益	3	54	+51	-	200
	%	0.3%	4.7%	+4.4 pt	-	3.9%
LWT合計	売上収益	1,995	1,932	-63	-3.2%	8,310
	事業利益	42	106	+64	+151.8%	405
	%	2.1%	5.5%	+3.4 pt	-	4.9%

売上収益

- **日本**：リフォーム売上が好調に推移し、前年同期比で増収
- **海外⁽¹⁾**：欧州・中東にて売上増加するも、米国の需要低迷継続、前年の米国の浴槽事業譲渡に伴う売上減少、基幹システム刷新による売上減少の影響を受け、現地通貨ベース・円貨ともに減収
- **海外売上比率**：前年同期比3.6pt減の59.8%

事業利益

- **日本**：価格改定効果に加え、リフォーム売上が好調に推移し、前年同期比増益
- **海外⁽¹⁾**：欧州・中東の売上増加に加え、操業改善効果により、前年同期比増益
- **海外事業利益比率**：前年同期比42.9pt増の50.7%

(1) 為替影響を除く前年同期比：売上収益 -53億円、-4%。事業利益 +50億円、+1,531%

ウォーターテクノロジー事業 (LWT) 海外地域別売上収益

LIXIL

11

地域別売上 (マネジメントベース) ⁽¹⁾ (億円)	26/3期 1Q実績	前年同期比 現地通貨 ベース	26/3期 業績予想	前年同期比 現地通貨 ベース
アメリカ	382	-7%(2)		+10%(3)
欧州	434	+4%		+5%
IMEA (インド、中東、アフリカ地域)	177	+16%		+12%
アジア太平洋地域	88	+5%		+11%
中国	101	-11%		+7%
連結調整・他	-26	-		-
LWT海外合計 (制度会計ベース)⁽¹⁾	1,156 (前年同期比 -9%)		5,110 (前年同期比 +4%)	

	円貨	現地通貨	
アメリカ	減収	減収	✓ 利下げの影響が限定的となり、リフォーム市場の需要回復に至らず。基幹システム刷新の影響あり減収 ✓ 浴槽事業譲渡を皮切りに、さらなる商材・販売先のシフトを加速し、収益性向上を目指す
欧州	増収	増収	✓ ドイツ、オランダ等、主要地域における販売数量増加により増収 ✓ ほぼ全ての商品カテゴリーで緩やかながら売上が回復、生産性向上が収益性改善に寄与
インド、中東、アフリカ	増収	増収	✓ インドは、安定的に売上を拡大 ✓ 中東は堅調な需要継続により全地域で増収
アジア太平洋	増収	増収	✓ ベトナムは小売り向けの売上が回復し増収 ✓ タイは需要低迷と地震によるプロジェクトの遅延により減収
中国	減収	減収	✓ 不動産市況低迷が継続し、消費者需要の回復を抑制 ✓ 厳しい競争環境が継続し減収

(1) 制度連結会計 為替レート： 26/3期 1Q実績 1USD=145.19円、1EUR=164.37円

マネジメントベース為替レート： 26/3期 1USD=155.0円、1EUR=161.2円

(2) 浴槽事業譲渡に伴い、前年の売上から除いています。譲渡した浴槽事業の売上を昨年の売上に加えた前年同期比は-17%となります

(3) 売上成長率予想の算出にあたっては、米国の浴槽事業譲渡の影響を除いた数値を使用しています。浴槽事業を昨年実績に加えた前年同期比は-1%となります

日本事業は、売上はリフォーム向けが新築向けの落ち込みをカバーしほぼ横ばい、価格改定やビル事業の収益性改善により増益。海外事業は、昨年並みの水準

(億円)		25/3期 第1四半期実績	26/3期 第1四半期実績	前年同期比		26/3期 業績予想
				増減	%	
日本	売上収益	1,228	1,221	-7	-0.5%	5,090
	事業利益	44	59	+15	+35.2%	280
	%	3.5%	4.8%	+1.3 pt	-	5.5%
海外	売上収益	64	61	-2	-3.8%	280
	事業利益	2	2	-1	-29.2%	15
	%	3.7%	2.7%	-1.0 pt	-	5.4%
LHT合計 ⁽¹⁾	売上収益	1,292	1,282	-9	-0.7%	5,370
	事業利益	46	61	+15	+31.9%	295
	%	3.6%	4.7%	+1.2 pt	-	5.5%

売上収益

- リフォーム売上は堅調に推移するものの、新築向け売上微減により前年同期比横ばい

事業利益

- 新築向け売上微減の影響あるも、価格改定効果とコストダウンに加え、在庫評価益の影響もあり、前年同期比増益
- ビル事業は収益性が向上し、増益に寄与

(1) 2026年3月期第1四半期実績（ご参考）

LHTビル事業除く
ビル事業 売上収益 1,078億円、事業利益 49億円、事業利益率 4.6%
売上収益 204億円、事業利益 11億円、事業利益率 5.6%

全商材、特にリフォーム向け売上が堅調に推移し増収増益

(億円)		25/3期 第1四半期実績	26/3期 第1四半期実績	前年同期比		26/3期 業績予想
				増減	%	
Living合計	売上収益	490	513	+23	+4.7%	2,100
	事業利益	14	22	+8	+56.7%	105
	%	2.8%	4.2%	+1.4pt	-	5.0%

売上収益

- 4号特例の駆け込み需要に加え、リフォーム向け売上が好調に推移。キッチン是新築向けも好調を維持し、前年同期比で増収

事業利益

- リフォーム売上が好調に推移し、収益性が改善。原材料・資材のコスト上昇を価格改定効果にてカバーし、前年同期比増益

キッチン「リシェル」



洗面化粧台「ルミシス」



インテリア建材「ラシッサ」



➤ (ご参考) データ集

LWTは、リフォーム需要と価格改定効果・販売施策がけん引し好調維持。LHTは、住宅サッシは前年並み。リビングは、販売施策効果でキッチン需要が堅調に推移

(億円)					
セグメント	主要商品名	25/3期 通期実績	25/3期 1Q実績	26/3期 1Q実績	前年 同期比
					(%)
LWT	衛生機器** (1)	1,152	254	275	+8.6%
	バスルーム	924	228	242	+6.3%
	タイル	302	73	71	-2.6%
LHT	住宅サッシ	1,879	472	475	+0.6%
	エクステリア	945	242	250	+3.7%
	その他LHT	387	96	97	+1.4%
	ビルサッシ	1,010	225	204	-9.3%
	住宅・サービス事業	190	45	42	-6.8%
Living	キッチン	1,004	240	256	+6.8%
	洗面化粧台 (1)	366	87	90	+3.4%
	インテリア建材	572	135	139	+3.0%
	海外売上(2)	5,194	1,330	1,217	-8.5%
	その他・連結調整等	1,122	273	288	-
売上合計		15,047	3,698	3,647	-1.4%

(ご参考) **「衛生機器」に含まれる水栓金具の売上状況

LWT	水栓金具	280	61	71	+16.0%
-----	------	-----	----	----	--------

(%)					
前年同期比					
25/3期				26/3期	
1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	
+5.7	+8.7	+10.9	+6.9	+8.6	
+4.2	+0.6	+4.5	+1.6	+6.3	
-0.9	-6.3	-3.1	-3.0	-2.6	
+1.3	-5.4	+5.6	-4.5	+0.6	
-0.5	-3.4	-2.1	+5.5	+3.7	
-12.1	-13.3	-8.5	+1.2	+1.4	
+2.0	+8.0	-6.1	+1.9	-9.3	
-26.7	-25.0	-1.7	-8.0	-6.8	
+2.3	+1.0	+2.5	+4.7	+6.8	
-5.8	-6.4	-4.7	-7.0	+3.4	
-3.7	-4.9	-2.2	+0.7	-3.0	
+9.9	+1.2	+5.7	-2.5	-8.5	
+3.0	-0.8	+2.6	+1.1	-1.4	
-0.3	+15.3	+10.7	+8.5	+16.0	

(1) 25/3期 1Qより衛生機器と洗面化粧台売上の社内管理方法を変更しました。25/3期の増減率については、過去の決算説明資料をご参照ください

(2) 海外水まわり事業の商品別売上状況については、p.17参照

リフォーム商材売上構成比1.7pt上昇。全セグメントで堅調なリフォーム需要が継続し、
リフォーム比率が前年比向上

	(億円)	第1四半期 3ヵ月			前年 同期比
		25/3期 実績 ⁽¹⁾	26/3期 実績	増減	
リフォーム商材売上		909	967	+58	+6.4%
LWT-J					+11%
LHT					+2%
ビル事業除く					+2%
ビル事業					-2%
Living					+9%
リフォーム売上構成比		46%	48%	+1.7pt	

セグメント別リフォーム売上構成比

	25/3期 1Q	26/3期 1Q	増減
LWT	54%	57%	+2.3pt
LHT	41%	42%	+1.1pt
Living	48%	49%	+1.6pt
国内・計	46%	48%	+1.7pt

リフォーム内窓「インプラス」



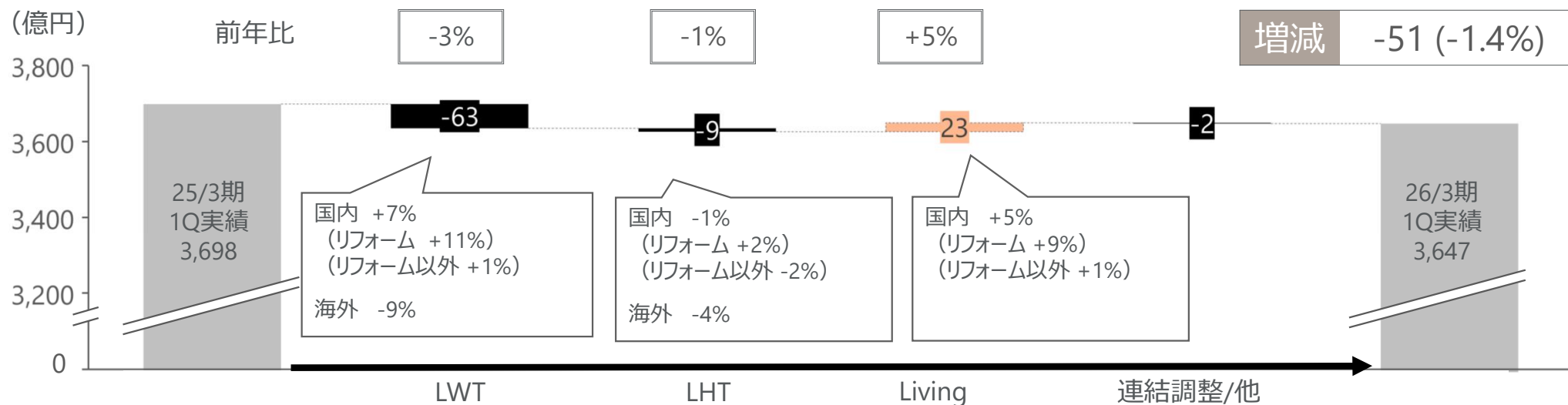
(1) 同一基準に基づく比較を可能とするため、前年同期のリフォーム売上高を遡及修正

ブランド・ポートフォリオやグローバルな開発体制、差別化された商品の展開により、
現地ニーズに迅速に対応し、海外事業の成長を促進⁽¹⁾

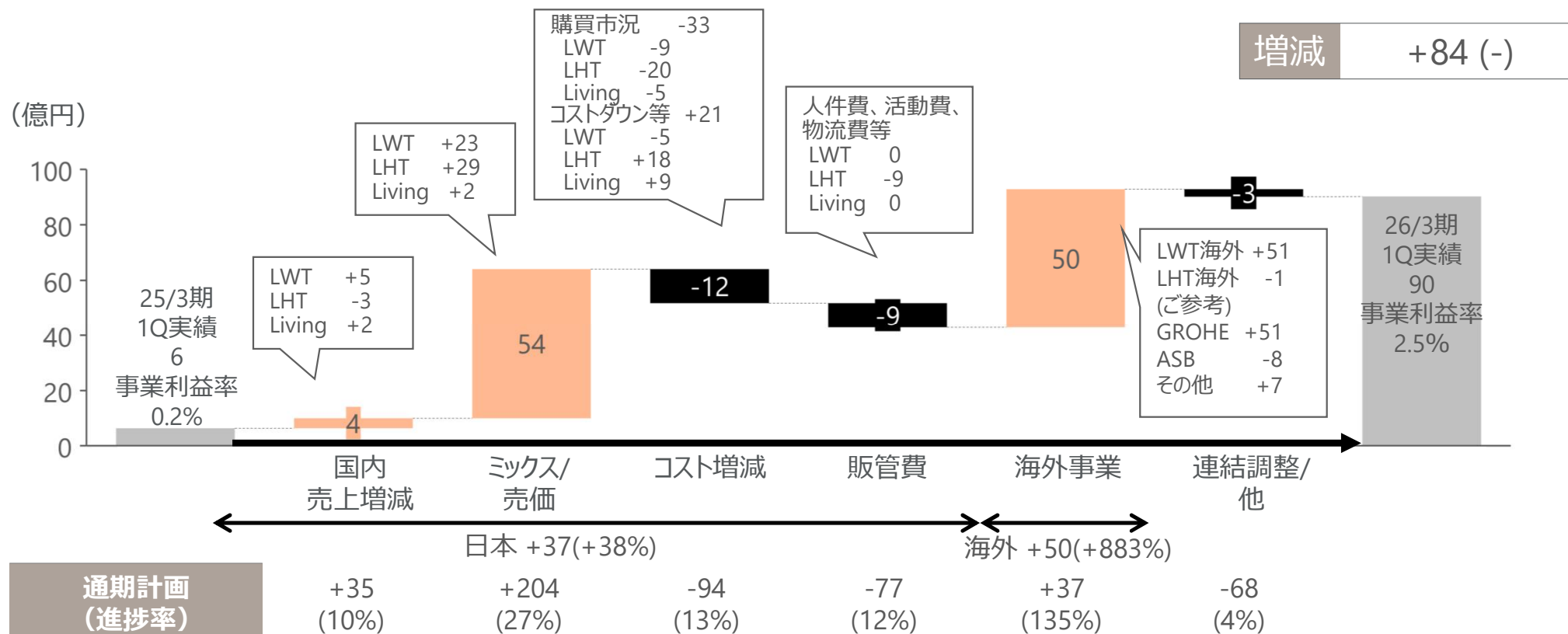
	26/3期 第1四半期 3ヵ月					
	海外 事業 合計	アメリカ	欧州	インド、 中東、 アフリカ 地域	アジア 太平洋 地域	中国
売上構成比						
水栓金具 (浴室)	43%	13%	60%	62%	35%	50%
衛生陶器等	43%	65%	23%	34%	60%	40%
水栓金具 (キッチン)	8%	5%	15%	4%	3%	5%
浴槽・シャワーシステム	5%	14%	0%	0%	1%	1%
その他	2%	3%	1%	0%	1%	5%
合計	100%	100%	100%	100%	100%	100%
売上伸び率						
水栓金具 (浴室)	+2%	-11%	+1%	+17%	+10%	-5%
衛生陶器等	+1%	-2%	+9%	+19%	+1%	-21%
水栓金具 (キッチン)	-0%	-15%	+4%	+2%	+68%	-10%
浴槽・シャワーシステム	-23%	-24%	-23%	-50%	+9%	+39%

(1) LIXIL Playbookの優先課題『ウォーター事業における海外事業の成長促進』の進捗については統合報告書2025 p.27、29-32、74をご参照ください
https://ssl4.eir-parts.net/doc/5938/ir_material_for_fiscal_ym37/181737/00.pdf#page=28

売上収益



事業利益



	(億円)	25/3期 1Q実績	26/3期 1Q実績	増減
その他		7	24	+17
その他の収益		7	24	+17
有形固定資産処分損		2	1	-1
減損損失		1	3	+2
その他		15	41	+26
その他の費用		18	45	+27
受取利息		4	5	0
受取配当金		6	7	0
その他		1	1	0
金融収益		11	12	0
支払利息		30	28	-3
為替差損		7	15	+8
デリバティブ評価損		2	1	0
その他		0	0	0
金融費用		39	44	+6

- その他の収益：出資先の持分法適用会社化による一時的な収益認識
- その他の費用：LHT窯業サイディング事業撤退による費用ならびに欧州拠点の再編コスト含む

- 為替差損：足元の為替変動による為替差損の計上

セグメント別 実績及び通期業績予想

LIXIL

20

		25/3期 第1四半期			26/3期 第1四半期			前年 同期比%	26/3期 通期予想			
(億円)		日本	海外	計	日本	海外	計		日本	海外	合計	前期比 %
LWT	売上収益	729	1,267	1,995	776	1,156	1,932	-3.2%	3,200	5,110	8,310	+3.2%
	事業利益	39	3	42	52	54	106	+151.8%	205	200	405	+9.9%
	%	5.3%	0.3%	2.1%	6.7%	4.7%	5.5%	+3.4pt	6.4%	3.9%	4.9%	+0.3 pt
LHT	売上収益	1,228	64	1,292	1,221	61	1,282	-0.7%	5,090	280	5,370	+1.9%
	事業利益	44	2	46	59	2	61	+31.9%	280	15	295	+13.3%
	%	3.5%	3.7%	3.6%	4.8%	2.7%	4.7%	+1.2 pt	5.5%	5.4%	5.5%	+0.6pt
Living	売上収益	490		490	513		513	+4.7%	2,100		2,100	+2.2%
	事業利益	14		14	22		22	+56.7%	105		105	+45.3%
	%	2.8%		2.8%	4.2%		4.2%	+1.4 pt	5.0%		5.0%	+1.5pt
連結調整 ・他 ⁽¹⁾	売上収益			-78			-81	-			-380	-
	事業利益			-95			-98	-			-455	-
LIXIL ⁽¹⁾	売上収益	2,446	1,330	3,698	2,510	1,217	3,647	-1.4%	10,390	5,390	15,400	+2.3%
	事業利益	96	6	6	133	56	90	-	590	215	350	+11.7%
	%	3.9%	0.4%	0.2%	5.3%	4.6%	2.5%	+2.3pt	5.7%	4.0%	2.3%	+0.2pt

(1) 国内・海外の売上収益/事業利益の合計と「計」の金額の差は、連結調整・他の金額

(2) 新報告セグメントによる前年度開示数字については、2025年4月30日公表の「25/3期決算説明資料」をご参照ください

ASB (ASD Holdings) (百万米ドル)	25/3期					26/3期	前年 同期比
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	
売上収益	298	286	262	276	1,122	247	-17%
事業利益	-12	-6	-13	-12	-44	-19	-
事業利益率	-	-	-	-	-	-	-

Grohe Group (グローエ) (百万ユーロ)	25/3期					26/3期	前年 同期比
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	
売上収益	390	393	412	406	1,601	417	+7%
事業利益	20	39	44	47	150	51	+156%
事業利益率	5%	10%	11%	12%	9%	12%	+7.2pt

ASB (ASD Holdings) (百万米ドル)	25/3期 残高	26/3期 1Q 残高
のれん ⁽¹⁾	225	225
無形資産 ⁽¹⁾	221	220

Grohe Group (グローエ) (百万ユーロ)	25/3期 残高	26/3期 1Q 残高
のれん ⁽¹⁾	1,199	1,183
無形資産 ⁽¹⁾	1,382	1,379

26/3期 1Q実績

為替レート	期中平均	期末
USD	145.19円	144.81円
EUR	164.37円	169.66円

(1) のれん及びその他の無形資産とその評価については、2025年3月期 有価証券報告書 p.145-147「14. のれん及びその他の無形資産」に記載
https://ssl4.eir-parts.net/doc/5938/yuho_pdf/S100VYMK/00.pdf#page=145

➤ (ご参考) 事業関連・ESG関連トピックス

■ イノベーションによる豊かで快適な住まいの実現

万博⁽¹⁾にLIXILのイノベティブな4商品が登場⁽²⁾



- ・ 万博でイノベティブな 4 製品を展示
 - ✓ 循環型素材「レビア」
 - ✓ スマートホーム「Life Assist2」を活用したPHR（パーソナル・ヘルス・レコード）ユースケース（6/21-29）
 - ✓ キッチン用ミネラル浄水栓「Greentap」
 - ✓ ガーデンエクステリア「GARDEN ANNEX」
- ・ その他にも万博内の様々な施設でトイレやフロントサッシなどのLIXIL製品が採用

■ 脱炭素・資源循環型社会への実現

ドイツサッシ大手Schueco社との戦略的パートナーシップを強化



- ・ Schueco社の技術と知見を融合させ、当社は高性能アルミ窓やカーテンウォール等、建築物の用途を問わず採用可能なSchuecoブランドの商品の拡販を本格化し、国内における建築物のホールライフカーボン削減に貢献⁽³⁾
- ・ 循環型低炭素アルミ「PremiAL」シリーズが、Schueco社の「Low Carbon Profile」の基準を満たすことが承認され、今後、当社タイ・ベトナム工場で生産する「PremiALシリーズ」を提供し、東南アジアで拡販。同地域における持続可能な社会の構築に貢献⁽⁴⁾

(1) 2025年日本国際博覧会

(2) ニュースリリース <https://newsroom.lixil.com/ja/2025040301>

(3) ニュースリリース https://newsroom.lixil.com/ja/20250424_schueco_partnership

(4) ニュースリリース https://newsroom.lixil.com/ja/20250417_schueco

■ イノベーションを通じたインパクトの最大化

中国広州に国際コンピテンシーセンター (ICC)を設立⁽¹⁾



- ・ 中国のサプライヤーとの連携を深め、グローバルな専門知識を統合することで、イノベーションを加速
- ・ 中国はLIXILにとって多くの革新的なアイデアが生まれる重要なR&D拠点。新しいテクノロジーや消費者のトレンドに迅速に対応
- ・ ICCは新商品の市場投入までの時間を短縮し、中国主導のソリューションを世界へ提供

■ ESG情報開示を推進

LIXILの重要課題を更新、インパクトウェブサイトで公開⁽²⁾

- ・ CSRDなどの開示規制を見据え、財務的影響と社会的影響の2つの観点からダブルマテリアリティ評価を実施、重要課題を更新
- ・ 特定した重要課題が、事業戦略を含む当社の戦略およびステークホルダーの期待と整合していることを確認し、かつインパクト戦略の妥当性を確認

「TCFD・TNFD提言に基づく情報開示レポート2025」を発行⁽³⁾

- ・ 当社の主要製品の原材料について、昨年の「アルミ」「木材」に加えて、「銅」「セラミック」を対象に加えて分析。Science Based Targets Network (SBTN) の“High Impact Commodity List (HICL - 自然への影響が大きい原材料リスト)”に該当する原材料の90%以上の評価を完了

(1)ニュースリリース https://newsroom.lixil.com/20250704_icc (英語のみ)

(2)ウェブサイト <https://www.lixil.com/jp/impact/strategy/issues.html>

(3)ニュースリリース <https://newsroom.lixil.com/ja/20250618tcfdtnfd>

GPIFが採用する6つのESG指数すべての構成銘柄に選定 (2025年7月時点) ⁽¹⁾⁽²⁾



2025 CONSTITUENT MSCI日本株
ESGセレクト・リーダーズ指数

2025 CONSTITUENT MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)



MSCI ESG格付け 最高評価「AAA」を獲得⁽¹⁾ [3年連続] (2025年2月)



CDP 2025年3月期： ・「気候変動」「水セキュリティ」の両分野 でA-評価 ・サプライヤーエンゲージメントA評価



FTSE4Good Index Series⁽²⁾ [9年連続]



DXプラチナ企業2025-2027 「DXプラチナ企業2025-2027」に初選定 (2025年4月)

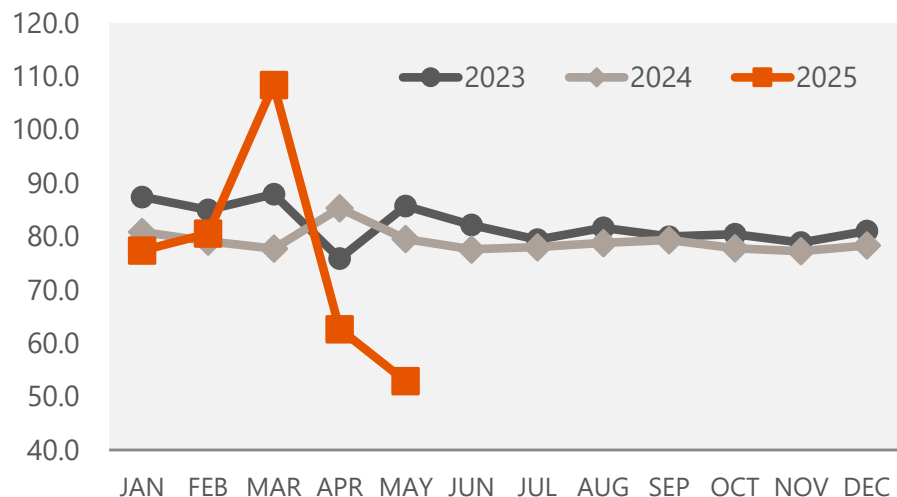


(1) 免責事項は当社ウェブサイトをご参照ください <https://www.lixil.com/jp/about/evaluation.html>

(2) FTSE4Good Index Series <https://www.lseg.com/en/ftse-russell/indices/ftse4good> (英語のみ)

FTSE Blossom Japan Index Series <https://www.lseg.com/en/ftse-russell/indices/blossom-japan> (英語のみ)

日本における新築着工数の推移 (季節調整値年率)



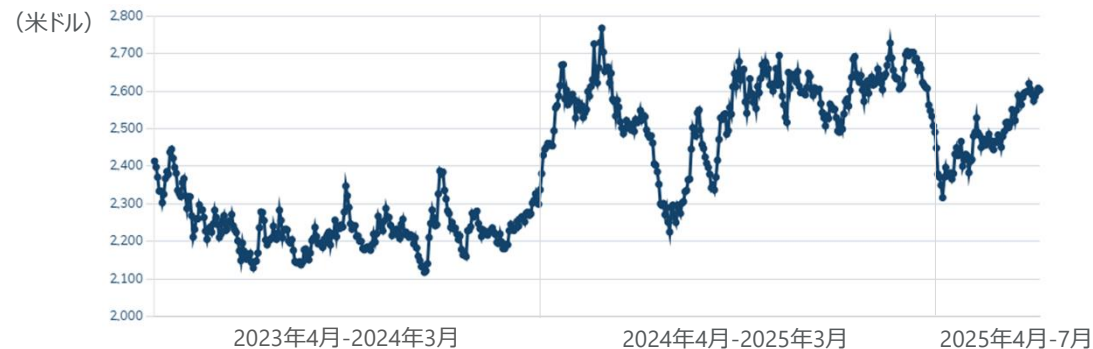
出所：国土交通省公表 新設着工データ (2023/1-2025/5)

新築着工水準 (対前年比)

- 2025/1-3 : +13.3%
- 2025/1-5 : -5.8%

	2025年1月-5月 (5ヵ月)		2025年4月-5月 (2ヵ月)	
	戸数	前年比	戸数	前年比
総数	305,944	-5.8%	99,425	-30.2%
持家(1)	78,307	-5.5%	25,555	-27.2%
貸家	136,669	-2.1%	43,832	-29.0%
分譲マンション	40,767	-16.3%	12,487	-46.2%
分譲戸建(2)	46,168	-8.3%	15,252	-26.3%
戸建合計(1)+(2)	124,475	-6.6%	40,807	-26.8%

アルミ価格 出所：LME 3ヵ月先物 (23/4/1-25/7/14)



銅価格 出所：LME 3ヵ月先物 (23/4/1-25/7/14)



為替 (期中平均レート)	24/3期 実績	25/3期 実績	26/3期 計画前提
米ドル	144.40円	152.48円	155.0円
ユーロ	156.80円	163.62円	161.2円

原材料価格の実績	24/3期 実績	25/3期 実績	26/3期 計画前提
アルミ価格 (購入ベース)	33.5万円/トン	39.8万円/トン	44.8万円/トン
銅合金価格	100.9万円/トン	117.0万円/トン	126.2万円/トン

> (ご参考) 2016年3月期よりIFRSに移行しています
 各段階利益の名称の違いは以下の通りです

日本基準	IFRS（当社財務報告）
	継続事業
売上高	売上収益
売上原価	売上原価
売上総利益	売上総利益
販管費	販管費
営業利益	事業利益（CE）
営業外収益・費用	その他収益・費用
経常利益	営業利益
特別損益	金融収益・費用
	持分法投資損益
税引前利益	税引前利益
	継続事業からの当期利益
	非継続事業
	非継続事業からの当期利益
当期利益	当期利益
非支配持分に帰属する当期利益	親会社の所有者に帰属する当期利益
親会社の株主に帰属する当期利益	非支配持分に帰属する当期利益

IFRS基準の「**事業利益（CE）**」は日本基準の「**営業利益**」に相当



この資料には、(株)LIXILの将来についての計画と予測の記述が含まれています。
これらの計画と予測は、リスクや不確定要素を含んだものであり、実際の業績は様々な重要な要素により
当社の計画・予測と大きく異なる結果となる可能性があります。

MAKE BETTER HOMES A REALITY FOR EVERYONE, EVERYWHERE

世界中の誰もが願う、豊かで快適な住まいの実現